



農業の発展を目指して 全国から意欲ある農業者が集結

県では平成26年からの3年間で1000人の新規就農者を育成する「担い手育成プロジェクト1000」のさらなる推進を目指しています。その一環として、農業の担い手が全国から岐阜に集まり、相互研さん・交流を通じて農業経営や課題について認識を深めるとともに、自らの経営改善、地域農業・農村の発展を目的に「第19回全国農業担い手サミットinぎふ」が開かれます。参加予定人数は県内・県外合わせて約2200人。全国優良経営体表彰やサミット宣言、県内10地域の約30コースでの農畜水産施設視察等が予定されています。

■問/県農業経営課 058(272)8246

第19回 全国農業担い手サミットinぎふ



日時 11月10日(木)・11日(金)

場所 岐阜メモリアルセンター、県内10地域

主催 第19回全国農業担い手サミットinぎふ実行委員会
全国農業会議所

内容 [全体会(10日)]全国優良経営体表彰・サミット宣言
[地域交流会(10日・11日)]情報交換会・現地研修会

担い手育成プロジェクト1000とは

新規就農者、定年帰農者、雇用就農者、農業参入法人を幅広く多様な担い手と位置づけ、平成26年から28年の3年間に新たな担い手を1000人育成するもの。県が就農相談や全県で11カ所(JAおよび予定地含む)の就農研修施設の機能を拡充するなどして、新たな担い手を育てています。



広げよう!つなげよう!未来の農業へ ~ともに語ろう清流の国で~

大会テーマは、岐阜県立岐阜農林高校(当時)の佐藤^{しずく}滴さん、上村^{あむら}有沙さんによる「広げよう!つなげよう!未来の農業へ~ともに語ろう清流の国で~」。岐阜県から全国へと未来につながる農業を発信します。

▶第19回全国農業担い手サミットinぎふ実行委員会委員長 ^{とちもと} 朽本弘明さん



サミットは全国の農業者に、土地をうまく利用した岐阜ならではの農業を知ってもらう機会です。情報交換を通して全国とタッグを組み、農業者の不安を解消しながら現在厳しい環境にある農業の発展につなげ、今後も多くの人に関心を持っていただき、後継者の育成に力を入れていきます。農業者はみんな一生懸命がんばっています!農業を知って、興味を持つ人が少しでも増えたらうれしいです。



▶大会ポスター原画作者
岐阜県立飛騨高山高校(当時)
山川ひなさん

農業をイメージさせる野菜を大きく描き、岐阜の象徴である山と川を背景にしました。未来まで続く岐阜の農業を思って、楽しく、命を大切にといったメッセージを込めています。水がきれいで優れた技術を持つ岐阜の農業を全国に発信したいです。人間が生きていくうえで欠かすことができない農業の発展を願っています。



▶岐阜県就農支援センター研修生 細田欽一さん



共に暮らしていた祖母の教えもあり、食べ物を大切にすることが昔から高くありました。食べ物に感謝する思いから、農業を見直し、自分も仕事として取り組みたいと支援センターで学んでいます。実際に農業をしてみると、思いどおりに成長しないなど大変ですが、地道にがんばれば良いものが採れる感動もあります。昔の人たちが残してくれた知識を次につなげる人材になりたいです。

▶岐阜県就農支援センター卒業生 海津いづ農園 伊藤智隆さん



農業は自分がやりたかったことなので、支援センターで学び、自分の農園で仕事ができているのが非常に幸せです。48歳から農業を始められたのは、支援センターやJAなどの組織があったからです。岐阜は農業に対する支援が厚く、新規で始められる場所です。支援センター卒業後も研修に参加したり、新しい知識を取り入れることができ助かります。難しいけれどやりがいがあるのが農業です。



第19回全国農業担い手サミットinぎふ開催に向けて、幅広く協賛企業・団体等を募集しています。
1口1万円から申し込み可能です。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

担い手サミットぎふ

検索

応援行事

就農・就業相談会
「ぎふアグリチャレンジフェア2016」

6月12日(日) 10:00~15:30 ふれあい福寿会館

県内で就農を目指す方を対象にした相談会と就農支援セミナーを開催します。

ぎふ就農ナビ

検索